

経営比較分析表（平成29年度決算）

岐阜県 揖斐川町

業務名	業種・事業名	管理者の情報	自己資本構成比率（％）
法非適用	電気事業	非設置	該当数値なし
水力発電所数	ごみ発電所数	風力発電所数	太陽光発電所数
2	-	-	-
その他発電所数	料金契約終了年月日	FIT適用終了年月日	電力小売事業実施の有無
-	平成49年 4月 4日 下辻南清流発電所	平成49年 4月 4日 下辻南清流発電所	無
売電先	地産地消の見える化率（％）※1		
中部電力株式会社	-		

※1 行政区域内の需要家に小売されたことが客観的に明らかであるものを計上。なお、この基本情報をもって全ての地産地消エネルギーへの取り組みを評価するものではない。

年間発電電力量（MWh）	H25	H26	H27	H28	H29
水力発電	-	-	-	-	703
ごみ発電	-	-	-	-	-
風力発電	-	-	-	-	-
太陽光発電	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	703

年間電灯電力量収入（千円）	FIT以外	FIT	合計
	-	23,944	23,944

剰余金の使途について（具体的な使用実績事業を記入してください）

売電収益は、①土地改良施設の維持管理費、②発電所の運営費、③農村振興施設の電気代、④地域振興施設（学校、公民館等）の電気代の財源として活用することにより、「農山村や地域コミュニティの活性化」や「農業水利施設の維持管理に係る農家負担の軽減」を図っていく。

- ・小水力発電事業基金積立金 7,740千円
- ・小水力発電所農業集落排水事業特別会計繰出金 11,000千円

なお、剰余金については剰余金に県の負担率（0.75）を乗じた額を県に納付し（小水力発電施設整備事業実施要領第6の1）、残額については翌年度繰越金とする。

- ・県納付金 1,201千円

分析欄

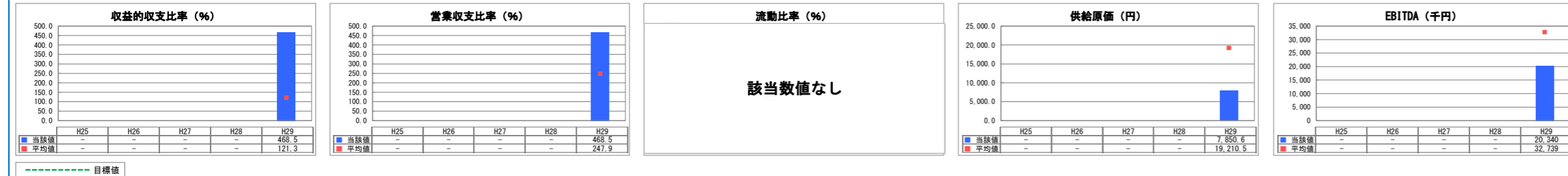
1. 経営の状況について

（經常収支比率及び営業収支比率）
 經常収支比率及び営業収支比率については、ともに400%を超えて100%以上となっている。なお、将来必要とされるであろう施設の更新費用に充てる財源は、必要額を試算し基金への積立てを行っている。

（供給原価）
 供給原価については、公営電気事業者平均を大幅に下回っており、効果的な維持管理を実施できている。

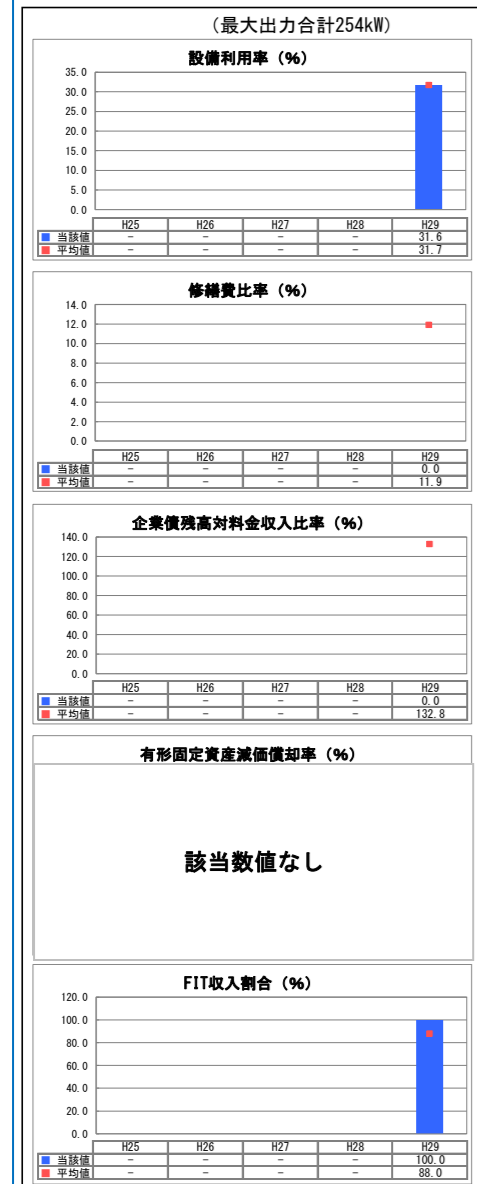
（EBITDA）
 （EBITDA）については、発電事業開始年度であり、経年比較できないことから分析なし。）

1. 経営の状況

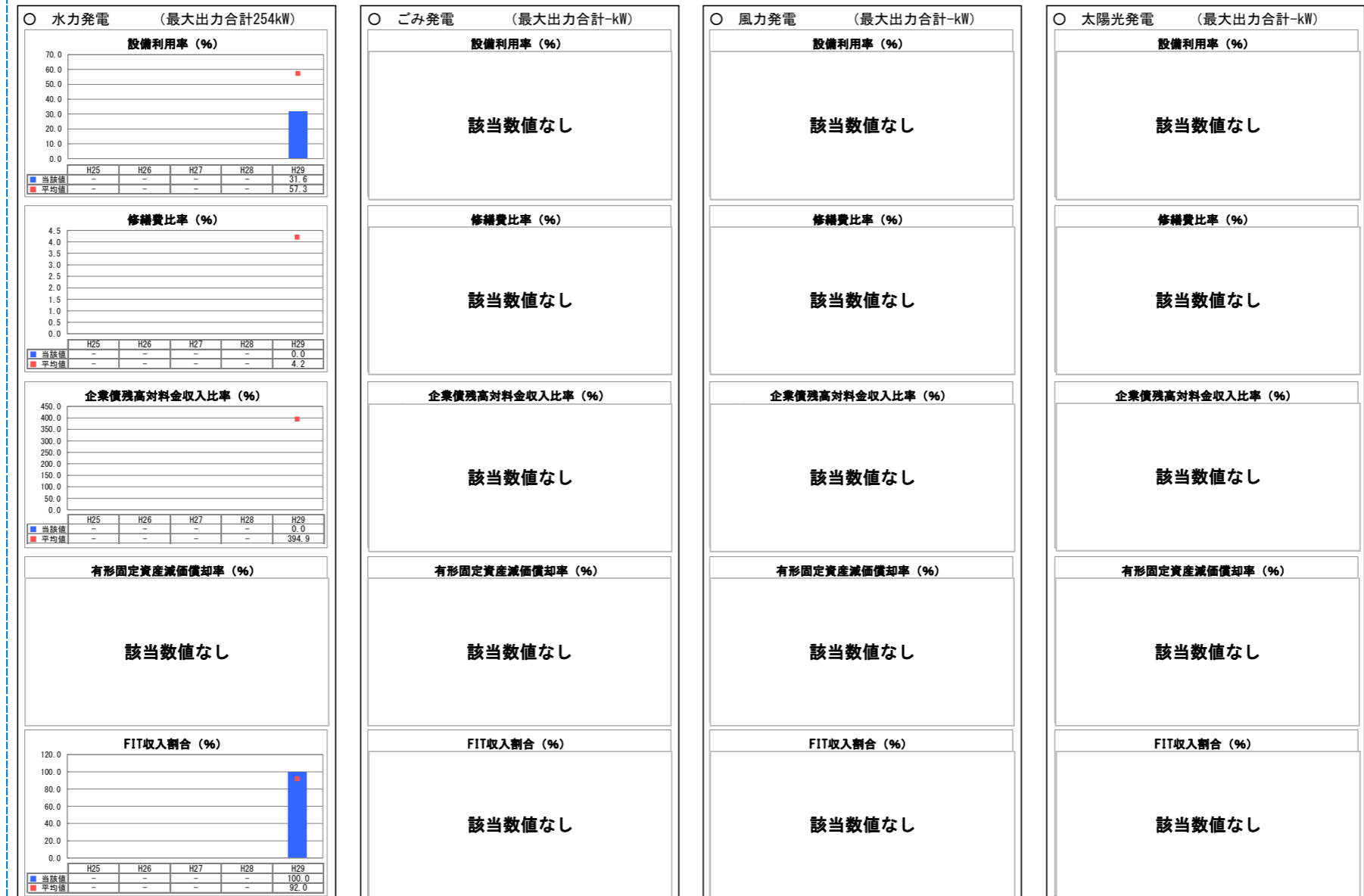


2. 経営のリスク

●施設全体



●発電型式別



2. 経営のリスクについて

（設備利用率）
 発電型式別設備利用率が団体平均の数値を下回っているが、これは発電事業開始年度ということで、試運転期間が含まれており、頻繁に発電機の稼働を停止させていたことに起因する。このため、本指標については、来年度以降分析の対象とする。

（修繕費比率）
 施設修繕に係る費用なし。今後も、計画的な保守運用により継続した安定稼働に努める。

（企業債残高対料金）
 企業債なし。
（FIT収入割合）
 100.0%
 固定価格買取制度調達期間内（20年間）で投資を回収する。

全体総括

現状においては経営の健全であると判断できるが、平成29年度は発電事業開始年度であるため、経年比較等本格的な分析は来年度以降行うことになる。

※ 平成25年度から平成29年度における各指標の全国平均値は、当時の団体数を基に算出していますが、設備利用率及び修繕費比率、企業債残高対料金収入比率、FIT収入割合については、平成29年度の団体数を基に平均値を算出しています。